



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日
東

上場会社名 新光商事株式会社 上場取引所
コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 一色 修志 (TEL) 03-6361-8111
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	133,208	0.0	4,878	△7.6	4,751	△8.8	3,212	△8.0
2023年3月期第3四半期	133,174	44.7	5,280	162.1	5,211	150.2	3,493	145.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,992百万円(△1.8%) 2023年3月期第3四半期 5,085百万円(162.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	97.08	—
2023年3月期第3四半期	101.31	—

1株当たり四半期純利益の算定に使用する期中平均株式数は、自己名義所有株式数を控除する他、役員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第3四半期連結累計期間501,750株、当第3四半期連結累計期間475,620株および従業員向け株式給付信託が保有する自己株式を、前第3四半期連結累計期間342,390株、当第3四半期連結累計期間319,030株、控除して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	102,352	55,320	53.3
2023年3月期	98,827	52,560	52.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 54,545百万円 2023年3月期 51,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	29.00	—	40.00	69.00
2024年3月期	—	26.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	26.50	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△5.1	5,000	△29.9	5,000	△26.9	3,500	△25.6	105.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	38,010,566株	2023年3月期	38,010,566株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,906,951株	2023年3月期	4,933,439株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	33,095,117株	2023年3月期3Q	34,478,286株

1. 期末自己株式には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期481,800株、2024年3月期3Q471,500株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期330,900株、2024年3月期3Q314,600株含まれております。

2. 期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期3Q501,750株、2024年3月期3Q475,620株、従業員向け株式給付信託が保有する当社株式数が、2023年3月期3Q342,390株、2024年3月期3Q319,030株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかに回復していますが、地政学リスクの高まりや世界的なインフレ、中国経済の低迷など引き続き不透明感が強い状況となっております。

エレクトロニクス業界におきましては、EV化の進展やDX化推進を背景とした需要はあるものの、コロナ禍の大幅な需要増の反動による在庫調整の動きが続きました。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）では、主要分野の自動車電装機器関連、産業機器関連は前年同四半期比で横ばい、娯楽機器関連は好調に推移する一方、OA機器関連は低調に推移したことから、全体では前年同四半期並みの実績となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,332億8百万円(前年同期比0.03%増)、営業利益48億78百万円(同7.6%減)、経常利益47億51百万円(同8.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益32億12百万円(同8.0%減)となりました。セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

自動車電装機器関連は堅調に推移いたしました。産業機器関連は横ばい、OA機器関連は低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体の売上高は797億95百万円(前年同期比0.7%増)、電子部品の売上高は369億37百万円(前年同期比6.4%減)、電子部品事業全体の売上高は1,167億33百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

アセンブリ事業

娯楽機器関連が好調に推移いたしました。

以上の結果、アセンブリ製品の売上高は134億1百万円(前年同期比19.8%増)となりました。

その他の事業

電子機器の販売が低調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は30億72百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,023億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億24百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が61億85百万円減少したものの、商品及び製品が66億80百万円、現金及び預金が17億60百万円、未収入金が7億7百万円、投資有価証券が4億60百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、470億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億65百万円増加いたしました。これは主に、未払金が13億50百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億円、未払法人税等が8億27百万円減少したものの、短期借入金が25億8百万円、長期借入金が10億円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は553億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億59百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が12億12百万円、利益剰余金が9億59百万円、その他有価証券評価差額金が4億97百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.3%(前連結会計年度末は52.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました、連結売上高1,700億円、営業利益50億円、経常利益50億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,929	12,689
受取手形、売掛金及び契約資産	38,531	32,345
商品及び製品	31,384	38,064
仕掛品	48	90
未収入金	11,679	12,387
その他	188	369
貸倒引当金	△41	△39
流動資産合計	92,720	95,907
固定資産		
有形固定資産	771	703
無形固定資産	386	313
投資その他の資産		
投資有価証券	3,458	3,919
繰延税金資産	228	231
その他	1,262	1,279
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,949	5,428
固定資産合計	6,107	6,445
資産合計	98,827	102,352
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,061	15,819
電子記録債務	2,350	2,625
短期借入金	9,025	11,534
1年内返済予定の長期借入金	1,600	600
未払法人税等	1,477	649
未払金	3,621	2,270
賞与引当金	785	305
役員賞与引当金	129	77
その他	1,901	2,370
流動負債合計	36,952	36,252
固定負債		
長期借入金	7,200	8,200
繰延税金負債	398	759
役員株式報酬引当金	108	122
従業員株式報酬引当金	322	432
退職給付に係る負債	815	806
その他	469	458
固定負債合計	9,314	10,779
負債合計	46,266	47,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,599	9,599
利益剰余金	33,577	34,536
自己株式	△4,608	△4,587
株主資本合計	48,070	49,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,063	1,561
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△61	△61
為替換算調整勘定	2,762	3,974
退職給付に係る調整累計額	25	21
その他の包括利益累計額合計	3,789	5,495
非支配株主持分	700	774
純資産合計	52,560	55,320
負債純資産合計	98,827	102,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	133,174	133,208
売上原価	120,757	120,906
売上総利益	12,416	12,301
販売費及び一般管理費	7,135	7,423
営業利益	5,280	4,878
営業外収益		
受取利息	5	43
受取配当金	91	107
仕入割引	4	7
雑収入	58	40
営業外収益合計	159	198
営業外費用		
支払利息	109	132
為替差損	103	178
雑支出	16	13
営業外費用合計	229	325
経常利益	5,211	4,751
特別利益		
固定資産売却益	39	—
投資有価証券売却益	—	83
関係会社清算益	—	76
特別利益合計	39	160
特別損失		
固定資産除売却損	1	8
特別損失合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	5,248	4,903
法人税等	1,667	1,620
四半期純利益	3,581	3,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,493	3,212

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,581	3,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	498
繰延ヘッジ損益	△5	△0
為替換算調整勘定	1,451	1,216
退職給付に係る調整額	2	△4
その他の包括利益合計	1,504	1,709
四半期包括利益	5,085	4,992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,992	4,917
非支配株主に係る四半期包括利益	92	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品 事業	アセンブリ 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	118,724	11,186	3,262	133,174	—	133,174
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	118,724	11,186	3,262	133,174	—	133,174
セグメント利益	6,401	308	170	6,880	△1,600	5,280

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,600百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,600百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品 事業	アセンブリ 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	116,733	13,401	3,072	133,208	—	133,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	116,733	13,401	3,072	133,208	—	133,208
セグメント利益	5,708	548	366	6,623	△1,745	4,878

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,745百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,745百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。